

土岐市妻木こども園 自己評価票（令和6年度）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	コメント
①園の保育方針を理解している。	A	・保育方針を理解し発達段階に合わせた保育を行うことができた。
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	A	
③担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A	
④各年齢の発達段階合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	A	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	A	

2. 保育の内容

内容	評価	コメント
①保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	A	・子ども達と信頼関係を築き安心した環境の中で園生活が過ごせるように努めた。
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	A	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	A	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	A	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. 園の組織・役割分担

内容	評価	コメント
①職場内で連携がとれている（連携をとるように努めている）。	A	・今後も知識や技能を身に付けて資質向上していくことが必要である。
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	B	
③職員間で「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」ができている。	A	
④職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	A	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	A	

内容	評価	コメント
⑥各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	・ミーティングの時間を工夫し、援助や環境構成について話し合ったり、情報交流したりして取り組んだ。
⑦各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	A	
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	A	

4. 家庭・地域社会

内容	評価	コメント
①保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	・より良い保育の実現へ向けて関係機関との連携を図り対応していくことが課題である。
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	A	
③保護者に子どもの伸びているところや課題を伝えるなど連携をとっている。	A	
④家庭との連携を図るように努めている。	A	
⑤家庭環境及び食事習慣等園以外での子どもの状態を把握している。	A	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	A	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	B	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	コメント
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	・今後も個人情報の取り扱いや守秘義務においては徹底する。
②園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている。	A	
③金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	A	

6. 総評

・園目標『心豊かで 明るく 健やかな子』をめざして、子ども達のよさを見つけ認めながら自主性を育んできた。今後もよりよい保育の実現へ向けて、知識や技能を身に付けて資質向上していくことや関係機関との連携を図っていくことが必要である。